

年 組 名前：

問1

つぎ 次の3つの言葉の説明を

こた 答えてください。

わい ふあい Wi-Fi

.....
.....
.....

ローミング

.....
.....
.....

デュアルSIM

.....
.....
.....

スマホ通信障害時の手段検討

公衆Wi-Fi活用も

総務省がスマートフォン通信障害が起きても利用者が連絡手段を確保できるよう、公衆Wi-Fiサービスを活用する検討に入ったことが19日、分かった。障害時に契約者以外でもWi-Fiでデータ通信ができればLINE（ライン）などが使える。連絡手段の確保策を巡っては、携帯電話間で回線を乗り入れ「ローミング」の導入に向け、総務省が有識者会議を月内に設ける。Wi-Fiの活用策も併せて検討する。

障害時のローミング導入は、7月にKDDI（au）が起こした大規模障害をきっかけに機運が高まった。ただ、実現には各社の設備改修などが必要になり、運用開始まで時間がかかる。このため総務省は、他の手段も準備する必要があると判断した。Wi-Fiは端末を無線でインターネットにつなぐ技術。通信会社による有料サービスのほか、行政や飲食店が無料で提供している事例もある。今でも地震や台風といった大きな自然災害が起きた時には、携帯大手などが、契約していない人にも自社のWi-Fiを無料で開放する仕組みがある。対象エリア内でネットワーク名「00000JAPAN」に接続すれば使用できる。有識者会議では、こうした取り組みも参考にしている。

通信障害時の活用は、通信会社などが独自のネットワーク名で提供しているWi-Fiを、セキュリティ対策を講じた上で契約者以外が無料で使えるようにすることなどが選択肢になりそうだ。ローミングやWi-Fi以外の手段も検討する。NTT東日本と西日本は大規模な自然災害時に無料で使える「災害時用公衆電話」を全国の公民館や学校などに3月末時点で8万台超を設置している。NTT東が障害時の活用を提案している。有識者会議では、利用者自らができる連絡手段の確保策として、1台のスマホで二つの回線を使う「デュアルSIM」という仕組みも紹介する見込み。一つの回線で障害が起きても、残りの回線が使える。二つの回線契約が必要で、組み合わせ次第では通信コストが上がる可能性がある。

(2022年9月20日付 山梨日日新聞 20面)

問2

そうむしょう 総務省は、こうしゅう 公衆Wi-Fiを、なに りょう 何に利用するけんとう はい 検討に入りましたか。

.....
.....